

**特定非営利活動法人 学生支援ハウスようこそ 平成30年度 事業計画****はじめに―事業計画の重点はハウスの充実した運営と制度化への展望を築くこと―**

法人設立3年目に入る今年度の重点課題は2つある。その第1は、ハウスの安定した豊かな暮らしをつくることである。入居学生にとって住まいと食事内容はより安定的で充実したものになってきたことは事業報告でも述べたところである。そうした2年目での到達点を踏まえて、ハウスに入居している学生の意見や要望を聞きながら、より住みやすいハウスにしていくための条件整備が求められている。あわせてハウスアテンダントの安定的な人材確保は、ハウスの社会的存在意義を果たしつつ、事業の質の面での充実を図っていく。

もうひとつは、児童養護施設や里親家庭などで暮らした子どもたちの大学・専門学校等の進学にともなう社会的支援のための「就学型自立援助ホーム」について、東京都および全国的なレベルでの制度化を実現するという課題である。言い換えれば、社会的養護を必要とする青年の高校卒業後の進学にともなう社会的支援の制度化をすすめるという課題がある。ここでいう制度化とは、①法律で位置づけられ、②公的な事業として、国・自治体の責任で職員配置や運営基準が明示され、③ホーム運営に関して、財政面での公的支援が保障されることである。

今年度は、現在ある就学型自立援助ホーム（2018年2月1日現在143ホーム、未設置は3県のみ）の開拓的实践と事業に学びながら、私たちがめざす「就学型自立援助ホーム」の制度化にむけて具体的な動きをつくる年度としたい。

**1. ハウスの運営****1) 暮らしやすく、居心地のいい環境整備**

入居学生にとって快適な暮らしを追求していくことは継続的課題である。ハウス内外の環境整備も引き続き改善していくことを予定している。

とくに朝夕の食事の提供は、それぞれの学生の生活時間（登校時間、アルバイトで帰宅する時間など）が違うなかでも、手作り料理の提供をすることでほっとできる場にしていきたい。

**2) ハウス会議の定例化と自治的な運営の工夫**

昨年度は学生とハウスアテンダント（以下、HA）が共同で開催をするハウス会議の定例化をすすめたことを踏まえて、今年度はさらにハウス会議の充実を図っていく。学生の側からの問題提起や学生とスタッフが共同で取り組む身近な生活課題から環境整備、年間行事計画などを作成することで、ともに暮らしをつくる運営のあり方をめざしていきたい。

### 3) 入居学生への個別支援の充実

個別面談の年間を通しての定期的な実施と日常的な相談支援を充実していく。生活と学業を両立させながら学生生活を維持・充実させていくことは、「就学型自立援助ホーム」機能として求められる内容である。入居学生の実際に即した個別支援の充実を具体化していく。

### 4) 行事計画の策定と暮らしの見直し

年間行事計画は、みんなでつくる暮らしのひとつの柱である。お互いが一緒に楽しむことと、暮らしのなかで学ぶことを大切にしていきたい。

### 5) 定員5名をフルに活用してもらうための児童養護施設等との情報交換

定員5名について、引き続き児童養護施設等との情報交換やようこそ独自の説明会などを開催しながら、高校卒業後の選択肢として利用してもらうことを働きかけていきたい。

また児童養護施設・里親家庭で育った学生以外でも、住まいと食事、個別援助が必要な学生を入居対象とすることに関して、積極的に検討をしていきたい。

## 2. ハウスの宿泊体制の整備－HAを軸にした安定的運営と宿泊体制

### 1) HAの安定的な確保

NPO法人としてHAの働く条件整備をすすめることは、継続して取り組むべき課題である。HA3名体制を基本に、補助スタッフ体制を確立することは、さまざまな条件面での困難があるなかで、今年度も多くの方々の協力をいただきながらすすめていきたい。

### 2) HAの働く条件の改善について、引き続き研究と検討を続けたい。

### 3) HA・宿泊スタッフ・事務局の研修計画

全国自立援助ホーム協議会が開催する研修会などに年間を通して計画的に参加する。

## 3. ようこそその組織活動と広報活動

### 1) 年間計画（月ごとの課題を明示）の作成

①法人の事業、②制度化のとりくみ、③研修等、④その他などについての年間計画を立てることで、見通しを持った事業計画となることをめざす。

### 2) 認定NPO法人の取得の検討・準備をすすめる

### 3) 学生支援ハウスようこそその取り組みに関する中間報告会の開催

運営と実践に関する内容を報告することで、就学型自立支援の必要性を訴えていきたい。多くの方々からご意見をいただきながら、運営と実践のあり方を追究していく。

### 4) 「就学型自立援助ホーム」の制度化を求めるネットワークの結成とアクション

現在、「就学型自立援助ホーム」の設立をめざし、重なる課題に挑戦している団体・個人と連絡・協議をはじめていく。私たちだけでなく、多くの志を同じくする団体・グループ・個人との連携をいっそうすすめていく。

5) 地域との連携・協力関係の強化をすすめる

北区の子どもの福祉事業に関係する団体との情報交換をすすめていく。

6) メールマガジンの定期的発行（年間4回を基本に）の継続

7) ホームページの充実と更新を引き続いて運営していく

8) その他

#### 4. 「就学型自立援助ホーム」の制度化に向けての取り組み

1) ようこそ取り組みとハウスに関する中間報告会の開催を予定する。

2) 「就学型自立援助ホーム」制度化検討チームを、当法人のなかで確定し、重点的に制度化の課題を整理するなかで、あわせて東京都の担当部局や都議会議員などへの働きかけを行う。

また、シンポジウム企画「いまこそ就学型自立援助ホームの制度化を！」を具体化していく。

3) 自立援助ホームにおける雇用制度に関する実務学習をすすめていく。

4) 行政や都議会議員、区議会議員へのお願いと説明の活動をすすめる。

5) その他